2003年12月1日から2025年12月31日の間に

札幌医科大学附属病院泌尿器科において

二次性徴抑制療法を受けられた方へ

―「札幌医科大学附属病院における二次性徴抑制療法の現状と短期経過について　」へのご協力のお願い―

研究機関名　札幌医科大学附属病院
研究機関長　病院長　渡辺　敦
研究責任者　札幌医科大学附属病院　泌尿器科　教授　舛森　直哉
研究分担者　札幌医科大学附属病院　泌尿器科　診療医　深澤　武史

1．研究の概要

1）研究の目的

札幌医科大学附属病院泌尿器科において二次性徴抑制療法を受けられた方を対象に、初診時、治療開始時の状況や通院中のデータ、次治療への移行の状況などを知ることによって、今後の二次性徴抑制療法診療のおける観察法や管理法を考えるための参考にすることがこの研究の目的です。

2）研究の意義･医学上の貢献

これまで札幌医科大学附属病院泌尿器科で二次性徴抑制療法を受けられた方の経過を把握する事により、今後同じ治療を受けられる患者さんの観察や対応の参考にすることができます。
この研究で得られた成果は、札幌医科大学附属病院の患者さんに限らず、同じ治療を施行した全国の患者さんの治療や治療後のケアの改善に貢献できる可能性があります。

2．研究の方法

1）研究対象者

2003年12月1日から2025年12月31日の間に札幌医科大学附属病院泌尿器科において二次性徴抑制療法を受けられた方が研究対象者です。

2）研究期間

病院長承認後～2026年12月31日

3）予定症例数

4人

4) 研究方法

2003年12月1日から2025年12月31日の間に札幌医科大学附属病院泌尿器科において二次性徴抑制療法を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに初診から次治療への移行に至るまでのデータを選び分析を行います。

5) 使用する情報

この研究に使用するのは、大学病院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 出生時割当性別（assigned male at birth : AMAB, assigned female at birth : AFAB）
- GIクリニック初診時年齢，治療開始年齢
- 初診時および治療開始時Tanner分類
- GnRHアゴニスト使用期間
- 性ホルモン療法への移行状況
- 有害事象の有無
- 検査値（ホルモン値、肝機能、Ca値、血球数）

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、札幌医科大学泌尿器科学講座内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理･制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究
行いません。

情報の利用開始予定日は、2026年12月1日です。

7) 情報の管理責任者

この研究で使用する情報は、以下の責任者が管理します。

札幌医科大学附属病院 病院長　渡辺敦

8) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日、詳細な経過、身体診察の具体的な内容などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

9) 研究に関する問い合せ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2026年11月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた

時点で、研究に用いないように手続をして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。
ご連絡頂いた時点が上記お問い合せ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承下さい。

<問い合わせ・連絡先>
札幌医科大学 医学部 泌尿器科学講座
氏名：舛森　直哉
電話：011-611-2111 内線 34720（平日：8時45分～17時30分） 教室
　　011-611-2111 内線 39260（休日：8時45分～17時30分）西8病棟
ファックス：011-612-2709　時間外（17時30分～08時45分）